

鳥取大学大学院
持続性社会創生科学研究科
博士前期課程工学専攻
令和9年度入学生向け
入試説明会

説明会 内容

- ▶ 1. 大学院持続性社会創生科学研究科について
- ▶ 2. 工学専攻 教育課程について
- ▶ 3. 医工情報科学コースについて
- ▶ 4. 令和9年度入試について
 - ▶ 全体日程および出願について
 - ▶ 【医工情報科学コース】以外の入試
 - ▶ 【医工情報科学コース】の入試
 - ▶ 合格発表・入学手続き
- ▶ 5. 問い合わせ

大学院持続性社会創生科学研究科について

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科では、専門分野における高度な知識・技術と実践的能力に加え、本学の強み・特色を活かし、地球規模の課題と地域の課題を対象に持続性社会創生に関わる専門分野を超えた幅広い知識に基づく俯瞰的な思考力を身につけ、国内外の社会の様々な場において、持続性社会創生に向けてのイノベーション創出に貢献できる高度専門職業人を養成します。
(「履修案内」研究科の概要より)

地域学専攻

人口減少・高齢化社会、グローバル時代の地域の仕組みづくりと地域の人づくり

農学専攻

生物生産、バイオテクノロジー
自然環境の保全、6次産業化

持続可能な社会

情報通信技術、ロボット技術、
地域マネジメント技術、
新素材技術

砂漠化対処、
国際協力

工学専攻

国際乾燥地科学専攻

■入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)■

持続性社会の創生と発展を担おうとする入学者を国内外から受け入れるため、多様な入試により、次のような人を広く求めます。

それぞれの専攻の分野に関する学士課程の専門知識・技術等を身につけている人

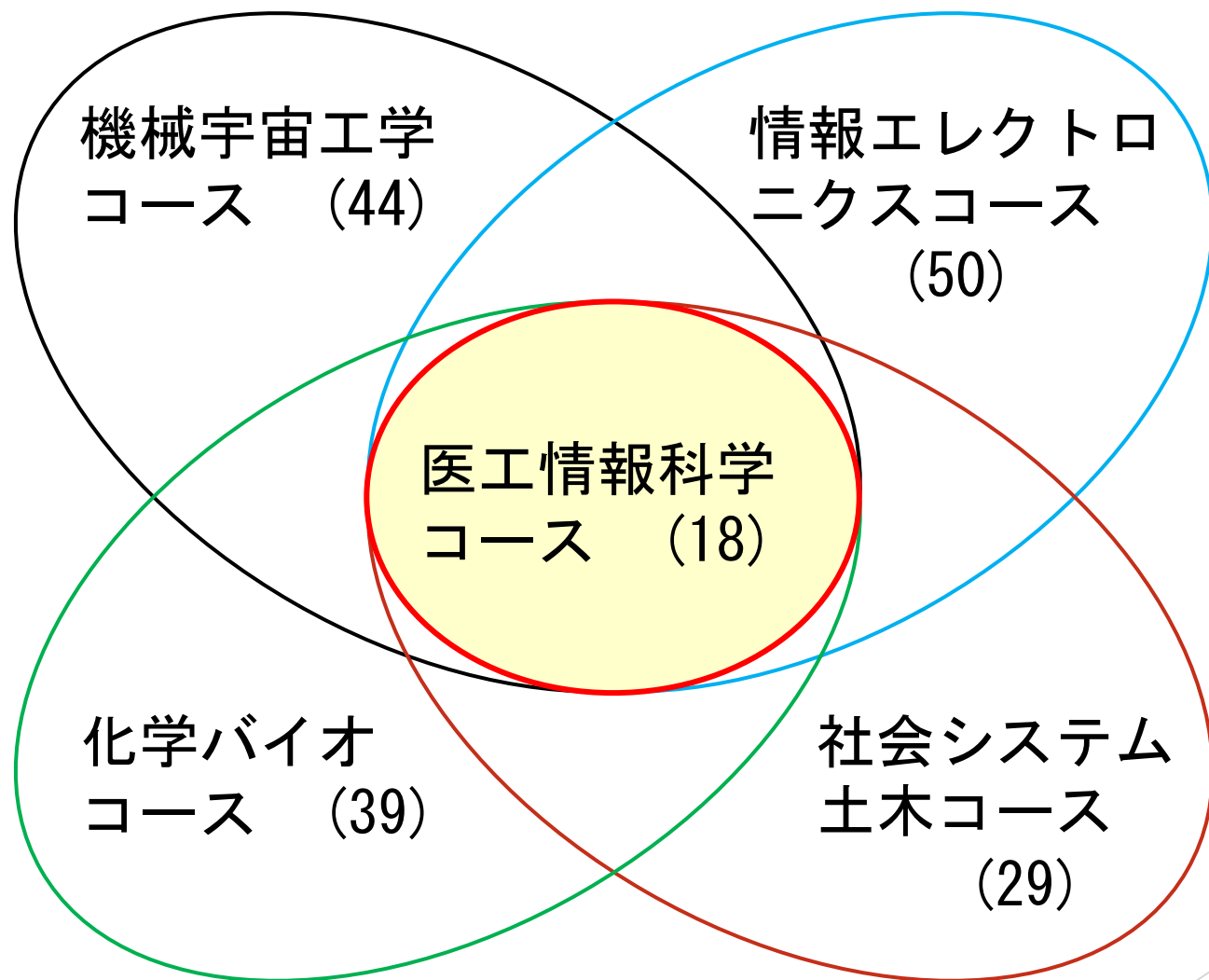
地球規模の課題と地域の課題に関して、幅広い視野と深い知識の修得を志す人

高い倫理観を身につけて、持続性社会の創生と発展に他者と共同して貢献することを志す人

専門性を生かし、他分野との連携を図るコミュニケーション力を身につけようとする人

工学専攻（令和9年度より）

入学定員：180名



工学専攻 教育課程について

研究科共通科目

科目区分	単位区分	授業科目
研究科共通科目	必修	研究者倫理
		研究者倫理(E)
	選択	持続性社会創生科学概論1
		持続性社会創生科学概論1(E)
		持続性社会創生科学概論2
		持続性社会創生技術論1
		持続性社会創生技術論2
		起業・知財論
		国際協力特論
		アカデミック・スキルズ
		データサイエンス特論

基盤科目

科目区分	単位区分	授業科目
研究科共通科目	選択	国際乾燥地科学特論Ⅰ(環境)
		国際乾燥地科学特論Ⅱ(食糧・農業)
		生命環境農学特論Ⅰ(里地里山環境)
		生命環境農学特論Ⅱ(生産資源環境)
		生命環境農学特論Ⅲ(生命環境科学)
		グリーンサステナブルケミストリー特論
		バイオ資源特論
		エネルギー化学特論
		先進機械宇宙システム特論
		地域経済学特論
		戦略的経営論
		マーケティング特論
		スマート社会技術論
		市民共創まちづくり論
		国際乾燥地科学特論Ⅲ(人間開発)
		国際交流と異文化理解(E)
		コミュニティ特論
		商業学特論
		文化多様性特論
		比較国際教育特論
		社会教育学特論
		人権教育特論

超領域科目

(注意) この資料に掲載している教育課程の一部は、今後修正される予定。

工学専攻 教育課程について

専門科目

科目区分	単位区分	授業科目
専門科目	専攻 共通 科目	選択
		◇特別学外実習
		◇長期特別学外実習
		◇国際連携特別研究
		◇機械宇宙工学特論
		◇化学バイオ特別講義Ⅰ
		◇化学バイオ特別講義Ⅱ
		◇社会システム土木特別講義Ⅰ
		◇社会システム土木特別講義Ⅱ
◇地域参加型研究プロジェクト		

(注意) この資料に掲載している教育課程の一部は、今後修正される予定。

工学専攻 教育課程について

専門科目

【機械宇宙工学コース】

科目区分	単位区分	授業科目	
専門科目	機械宇宙工学コース 展開科目	選択	
			材料科学特論
			遅い流れの流体力学
			航空宇宙流体力学
			ナノトライボロジー特論
			トライボロジー特論
			数理生物学
			機械システムダイナミクス
			伝熱工学特論
			材料強度学特論
			破壊力学
			設計工学特論
			機械加工学特論
			塑性力学特論
			再生可能エネルギー特論
			応用数学特論Ⅰ
			応用数学特論Ⅱ
			対称性の数理Ⅰ
			対称性の数理Ⅱ
			物理数学基礎
			プラズマ物理学基礎
			結晶成長物理学
			宇宙推進工学
			機械力学特論
			固体量子物性特論
			電子相関特論
			低温電子系の数理
			ロボット制御特論
			構造材料評価特論
			ソフトマター科学
◇機械宇宙工学実験及び演習Ⅰ			
◇機械宇宙工学実験及び演習Ⅱ			

【情報エレクトロニクスコース】

科目区分	単位区分	授業科目	
専門科目	情報エレクトロニクスコース 展開科目	選択	
			計算インタラクション特論
			パターン処理特論
			機械学習特論
			制御理論特論
			デジタル信号処理工学
			量子力学
			固体物性論
			応用数理解析特論
			ソフトウェアアーキテクチャ特論
			パターン認識特論
			情報ネットワーク特論
			情報セキュリティ特論
			ソフトコンピューティング論
			自然言語処理特論
			言語情報資源特論
			人工知能特論
			生物情報学特論
			生体情報処理特論
			光情報処理特論
			情報通信工学特論
			最適化計算論
			システム解析工学特論
			MEMS 特論
			固体電子工学特論
			通信機器工学特論
			インターネット・クラウド技術特論
			画像処理工学特論
			医工マイクロ・ナノ技術特論
			情報エレクトロニクス実験及び演習Ⅰ
情報エレクトロニクス実験及び演習Ⅱ			

(注意) この資料に掲載している教育課程の一部は、今後修正される予定。

工学専攻 教育課程について

専門科目

【化学バイオコース】

科目区分	単位区分	授業科目
専門科目	化学バイオコース 展開科目	触媒設計特論Ⅰ
		触媒設計特論Ⅱ
		構造化学特論Ⅰ
		◆構造化学特論Ⅱ
		有機材料設計特論Ⅰ
		◆有機材料設計特論Ⅱ
		無機材料化学特論Ⅰ
		◆無機材料化学特論Ⅱ
		固体物理化学特論
		微生物生産工学特論Ⅰ
		◆微生物生産工学特論Ⅱ
		生分子機能工学特論Ⅰ
		◆生分子機能工学特論Ⅱ
		構造生命科学特論
		表面化学特論
		グリーンプロセス特論
		有機金属化学特論
		精密合成化学特論Ⅰ
		◆精密合成化学特論Ⅱ
		機能材料化学特論Ⅰ
		◆機能材料化学特論Ⅱ
		電子材料化学特論Ⅰ
		◆電子材料化学特論Ⅱ
		界面電気化学特論Ⅰ
		◆界面電気化学特論Ⅱ
		化学生理学特論Ⅰ
		◆化学生理学特論Ⅱ
		超分子化学特論
		遺伝子工学特論Ⅰ
		◆遺伝子工学特論Ⅱ
		生体触媒機能特論Ⅰ
		◆生体触媒機能特論Ⅱ
		構造細胞生物学特論Ⅰ
		構造細胞生物学特論Ⅱ
		ペプチド化学特論Ⅰ
		◆ペプチド化学特論Ⅱ
		蛋白質構造機能科学特論
		生体医工学特論
		生命有機分子化学特論Ⅰ
		◆生命有機分子化学特論Ⅱ
◇化学バイオ実験及び演習Ⅰ		
◇化学バイオ実験及び演習Ⅱ		

【社会システム土木コース】

科目区分	単位区分	授業科目
専門科目	社会システム土木コース 展開科目	交通計画学特論
		品質マネジメント
		マネジメント・サイエンス
		システム計画学特論
		地盤解析力学
		地圏情報工学特論
		海洋水産資源学
		構造振動学特論
		地球情報学
		コンクリート物性論
		建設学特論
		岩盤物性論
		地盤工学特論
		流域砂防学
		海岸保全工学
		数値水理学
		防災システム工学
		社会基盤マネジメント
		環境社会デザイン論
		環境システム工学
◇社会システム土木実験及び演習Ⅰ		
◇社会システム土木実験及び演習Ⅱ		
地域経営工学特論		
地域データマイニング		
創造地域特論		
地域リテラシー特論		

(注意) この資料に掲載している教育課程の一部は、今後修正される予定。

工学専攻 教育課程について

専門科目

【医工情報科学コース】

科目区分	単位区分	授業科目	
専門科目	展開科目	医工情報科学コース	
			データサイエンス特論I
			データサイエンス特論II
			医用ソフトウェア構成特論
			医療情報ネットワーク特論
			医療情報セキュリティ特論
			医療クラウド技術特論
			量子コンピューティング
			医用画像処理特論
			医用パターン処理特論
			医用アバター技術特論
			医用機械学習特論
			医用パターン認識特論
			自然言語処理特論
			診療言語情報資源特論
			医工計算技術特論
			医用AI特論
			減災情報論
			医用品質工学
			医用生物情報学特論
			生体医療データのための信号処理
			医用サイバネティクス特論
			医用数理生物学特論
			医用生体情報処理特論
			共学講座雲水コース(PBL)
			医エマイクロ・ナノ技術特論
			生体医工学特論
			医療情報学
			◇医工情報科学実験及び演習 I
			◇医工情報科学実験及び演習 II
◇医工情報科学実験及び演習 III			
◇医工情報科学実験及び演習 IV			
◇医工情報科学実験及び演習 V			
◇医工情報科学実験及び演習 VI			

科目区分	単位区分	授業科目	
専門科目	展開科目	医工情報科学コース	
			選択II
			化学生理学特論 I
			◆化学生理学特論 II
			医療教授法特論
			最新医療機器応用特論
			医薬品医療機器等安全管理
			人体構造・機能学特論
			医療機器レギュラトリーサイエンス(PBL)
			医療機器ビジネス特論(PBL)
病院研修コース(PBL)			

(注意) この資料に掲載している教育課程の一部は、今後修正される予定。

工学専攻の学生は、研究科共通科目（基盤科目，超領域科目）から6単位以上、専門科目の展開科目からは、各コース指定の単位以上を修得し、合計で**30単位以上**を修得する必要がある。

医工情報科学コースについて

コース概要

▶ 設置の背景

医療現場では、多様な工学的ニーズがあり、特に診療情報を活用したデータサイエンス、医療情報セキュリティ、遠隔医療システム、生体認証、遠隔地域医療システムの構築、メンタルヘルスや身体疲労推定、医療従事者の働き方改革に至るまで、**医学の素養を有しながら情報科学に精通した技術者や研究者**の必要性が急速に高まっている。

▶ 育成する人材像

本コースでは、**医学と工学をつなぎ、「山陰医工学バレー」の拠点形成の一翼を担う高度情報専門人材の育成を目的とする**。地域社会、地元企業、病院との連携を通じ、医療情報システム開発のノウハウやコミュニケーション能力を身につけ、医療関連IT企業など幅広い分野で活躍できる人材を育成する。

▶ カリキュラム

「医工情報科学コースの教育課程は、**医学の素養を有しながら情報科学に精通した人材となるよう「医療情報セキュリティ」、「データサイエンス」等の科目で構成され、診療データを活用した情報系講義や深層学習の演習を行う**。また、附属病院と工学部のバーチャルラーニングコモンズ（VLC）を活用し、**医学部と連携した課題解決型学習を実施**する。

医工情報科学コースについて

教育内容

教育内容の特色

医工情報科学コースの教育課程は、医学の素養を有しながら情報科学に精通した人材となるよう「医療情報セキュリティ」、「データサイエンス」等の科目で構成される。また、異分野を横断的に修得できるように科目が設定されており、「地域参加型研究プロジェクト」や「共学講座雲水コース」など地域の課題に取り組むPBLを通して実践的な知識を習得する。なお、このコースに進学してくることを想定している工学部では、令和5年4月より医工学プログラムを3学科に設置し医学と工学の橋渡し人材の育成を行っており、医学の基礎となる「生化学、生理学、解剖学」等は修得している。

医工学プログラム（工学部）

R5.4 設置（定員21名）



「病院で育てるエンジニア」をキーワードに病院体験実習を実施。工学の専門知識と医学の基礎を学ぶ。

自分の得意科目で受験可能です！
主な就職先・進学先！
医療機器メーカー、医療関連官庁
数学・物理
数学・英語
数学・化学

電気情報系学科・情報エレクトロニクスコースの就職先

関西電力、中国電力、ダイフク、JR西日本、鳥取銀行、凸版印刷、鳥取県情報センター、オムロンソフトウェア、東芝デジタルソリューションズ、三井E&Sシステム技研、三菱電機、グローリー、京セラ、富士通、マキタ、村田製作所、スズキ、カネカ、ニプロ等

医工情報科学コース（工学専攻）

R9.4 設置予定（定員18名）

附属病院のみならず工学部にも設置されているバーチャルラーニングコモンズを利用して、医学部と連携したアクティブラーニングを実施する。特に、本学の新規医療研究推進センターが提供する共学講座（雲水コース）をPBLとして履修することで、PaRePi スキルの修得を目指す。



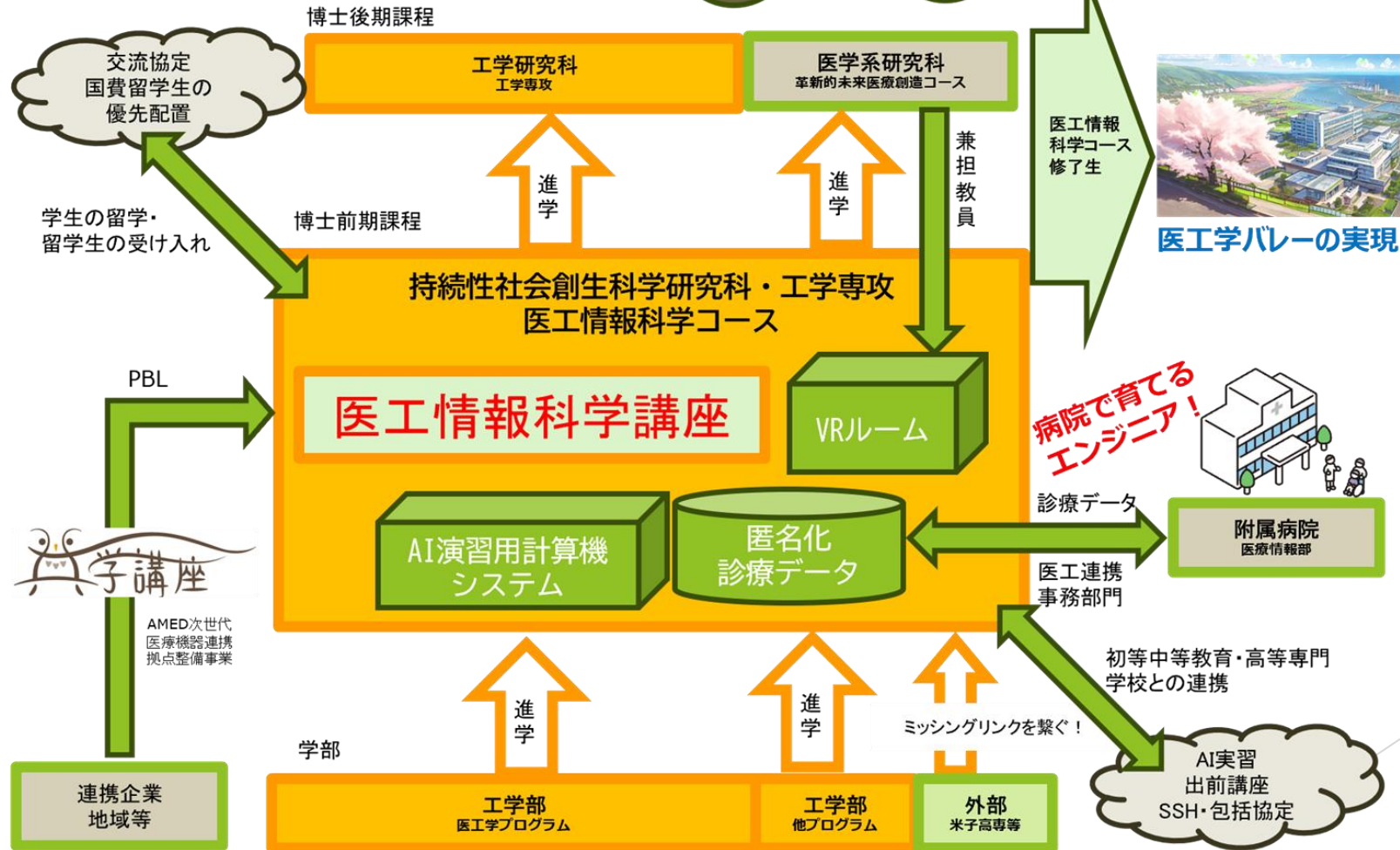
医学部のある米子キャンパスと工学部のある鳥取キャンパスでは90 kmの距離があるため、バーチャルラーニングコモンズも活用してオンライン講義を実施する。

医工情報科学コースについて

実施体制



で地域課題を解決



医工情報科学コースにおける研究例

- ◆ 内視鏡やカテーテル、ロボット鉗子などの高機能化・多機能化の研究
- ◆ 交通事故などで重大な怪我を受けるときの受傷メカニズムの解明
- ◆ 血管や胚の力学挙動の数値解析による病変や異常の早期検出の研究
- ◆ AI等の活用でタンパク質の構造や性質を解明し病気予防や治療に役立てる研究
- ◆ 情報工学・ロボティクスによるフィジカルAIに関する研究
- ◆ 先端的物質・材料研究の医療への応用研究
- ◆ AI・機械学習（マシンラーニング）の医療分野への適用など。

医工情報科学コースの学生の所属研究室は
工学専攻を担当する教員の研究室

（**医工情報科学講座**・機械工学講座・応用数理工学講座・
知能情報工学講座・電気電子工学講座・応用化学講座・
生物応用工学講座・土木工学講座・社会経営工学講座）

医工情報科学コースのメリット



VR(Virtual Reality)ルームを
使った授業や研究

AI深層学習計算機のアカウント付与

全体入試日程

	推薦入試	一般入試 (第1回)	一般入試 (第2回)
機械宇宙工学 情報エレクトロニクス 化学バイオ 社会システム土木	出願期間： 6月2日（火）～5日（金） 試験日： 7月3日（金）	出願期間： 7月21日（火）～24日（金） 試験日： 8月19日（水）	出願期間： 10月26日（月）～29日（木） 試験日： 12月10日（木）
医工情報科学	出願期間： 10月下旬（予定） 試験日： 11月中旬（予定）	出願期間： 11月下旬～12月上旬（予定） 試験日： 12月中旬（予定）	

医工情報科学コース入試について



一般入試の試験問題は他コースの一般入試（第2回）と
共通となります（試験日も同じ予定）

既設4コース入試との併願について

(機・情・化・社) 推薦
出願期間：6月2日(火)～5日(金)
試験日：7月3日(金)
合格発表：7月22日(水)



(機・情・化・社) 推薦に合格した場合、
(医工) への出願は推薦・一般ともに併願不可
※ (医工) 第一希望者は (機・情・化・社)
推薦には出願しないよう注意

【医工情報科学】以外

(機・情・化・社) 一般 (第1回)
出願期間：7月21日(火)～24日(金)
試験日：8月19日(水)
合格発表：9月3日(木)

(機・情・化・社第1回) に合格しても、(医工) の推薦・一般とも出願できる (併願可)

【医工情報科学】 (9月上旬公表)

(医工) 推薦
出願期間：10月下旬

【推薦枠受験】 受験希望者
* 指導教員からの推薦を得られる者
* 合格した場合は入学が確約できる者

【推薦入試】
試験日：11月中旬
合格通知：12月上旬

(医工) 一般
出願期間：11月下旬～12月上旬

【一般枠受験】 受験希望者
* 推薦枠の受験を希望しない者

【一般入試】
試験日：12月中旬予定
合格通知：12月下旬



(医工) 一般との併願不可
・ (機・情・化・社第2回) と
(医工) 一般 (第1回) は、同
日の試験日のため。

(機・情・化・社) 一般 (第2回)
出願期間：10月26日(月)～29日(木)
試験日：12月10日(木)
合格通知：12月24日(木)

(医工) 推薦との併願は可能だが (医工) 推
薦に合格した場合は (医工) への進学を確約
して頂く必要がある

機械宇宙工学コース、情報エレクトロニクスコース、 化学バイオコース、社会システム土木コース

▶ 入試の種類

- ▶ 推薦入学特別入試
- ▶ 一般入試（第1回、第2回）
- ▶ 飛び級入試
- ▶ 社会人特別入試
- ▶ 外国人留学生特別入試

募集人員 162人

【推薦入試】

機械宇宙工学コース、情報エレクトロニクスコース、
化学バイオコース、社会システム土木コース

【推薦入学特別入試の出願資格】

次のすべてに該当する者

(1) 次の①, ②のいずれかに該当する者

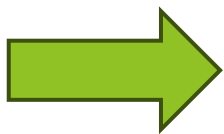
① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者

② 工業高等専門学校専攻科を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者

(これに該当する場合は、学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者であること。)

(2) 学業成績、人物ともに優れ、将来工学の研究分野において貢献ができる者

(3) 合格した場合は入学が確約できる者



(内部進学者) 各学科で、推薦入試出願の条件等あり。学科内で確認すること。

※学科長又は指導教員が作成した推薦書が必要

合格した場合は、「医工情報科学コース」への出願はできないので、
「医工情報科学コース」志望者は注意

【推薦入試】

機械宇宙工学コース、情報エレクトロニクスコース、
化学バイオコース、社会システム土木コース

【入試方法】

入学者の選抜は、出願書類、面接（口頭試問を含む）の結果の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
口頭試問は、研究実績と研究計画に基づく質疑応答の形式で実施します。
質疑応答は、本研究科での教育・研究活動を行うために必要な資質の観点から評価します。

【推薦入試】機械宇宙工学コース、情報エレクトロニクスコース、化学バイオコース、社会システム土木コース

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ①入学志願票 | 本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 |
| ②写真票,
受験票,
振替払込受付証明書貼付票 | 本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 |
| ③推薦書 | 本学所定の用紙により学科長又は指導教員（もしくはこれに準ずる者）が作成，厳封したもの。
入手しにくい場合は自己推薦書とし，自己をアピールする文章，本研究科を志望した動機及び入学後の研究計画を記載したもの（A4判2枚程度で任意様式）。 |
| ④卒業（修了）証明書又は
卒業（修了）見込証明書 | 出身（在籍）大学等の長などが作成したもの。
ただし，鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要。 |
| ⑤学士の学位授与証明書
又は授与申請の証明書等 | 該当者のみ |
| ⑥成績証明書 | 出身（在籍）大学等の長などが作成し，厳封したもの。
ただし，鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。 |
| ⑦TOEIC®スコア証明書
(原本またはデジタル公式認定証) | 出願開始日から遡って，3年以内に受験したもの。
(TOEIC®スコア証明書の原本は書類確認後返却します。) |
| ⑧受験票等返送用封筒 | 郵便切手410円分（速達料を含む。）を貼った長形3号封筒に，郵便番号，住所，氏名を明記してください。 |
| ⑨住所シール | 住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号，住所，氏名を記入してください。 |
| ⑩住民票等
(外国人志願者のみ) | 日本に在住する外国人志願者は，市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等，在留資格が記載されたものを，その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。 |
| ⑪検定料 | 30,000円
本学所定の振込用紙を使用して，最寄りの銀行窓口又は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口で振込みのうえ，「振替払込受付証明書」を必ず受け取り，「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。（ATMは利用しないでください。また，手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。） |

詳細は、必ず募集要項を確認すること

TOEICスコアの提出
が必須です

【一般入試】

機械宇宙工学コース、情報エレクトロニクスコース、
化学バイオコース、社会システム土木コース

【入試方法】

入学者の選抜は、出願書類、学力検査及び面接の結果の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。

【一般入試】

機械宇宙工学コース、情報エレクトロニクスコース、
化学バイオコース、社会システム土木コース

コース	日時	科目等		配点
機械宇宙工学コース	9:00～11:00	数学	線形代数, 微積分, 常微分方程式, ベクトル解析, フーリエ解析, 複素関数	200
	12:30～14:30	機械物理	機械工学で使用する基礎物理 (質点系, 剛体, 弾性体, 振動, 流体, 熱)	200
	15:00～	面接		合・否
		出願書類	英語 (TOEIC スコア)	200
			その他の出願書類	可・否
合計				600
情報エレクトロニクスコース	9:00～11:00	数学	微分積分, 線形代数	200
	14:00～	面接		100
		出願書類	英語 (TOEIC スコア)	100
			その他の出願書類	可・否
合計				400

化学バイオ コース	9:00～12:00	専門 ※専門科目は志願票で選択してください。出願後の変更は認められません。	有機化学・分析化学，無機化学・物理化学，微生物学・分子生物学，生化学・構造生物学 (関数電卓を持参してください。)	2科目選択 300×2
	14:00～	面接		100
		出願書類	英語 (TOEIC スコア)	200
			その他の出願書類	可・否
	合計			900
社会システム 土木コース	9:00～11:00	専門	土木工学 (構造力学・コンクリート構造学・水理学・土質力学)， 社会経営工学 (経営科学・環境工学・防災工学・地域都市計画・経済学) (関数電卓を持参してください。)	1科目選択 200
	12:30～14:00	数学		100
	15:00～	面接		100
		出願書類	英語 (TOEIC スコア)	100
			その他の出願書類	可・否
合計			500	

【一般入試】機械宇宙工学コース、情報エレクトロニクスコース、化学バイオコース、社会システム土木コース

①入学志願票

本学所定の用紙に必要事項を記入してください。

②写真票、 受験票、 振替払込受付証明書貼付票

本学所定の用紙に必要事項を記入してください。

詳細は、必ず募集要項を
確認すること

③志望理由書

本研究科を志望した動機、入学後の研究計画及び本研究科修了後の将来の抱負を記載したもの
(A4判2枚程度で任意様式)

④卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書

出身(在籍)大学等の長などが作成したもの。
ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要。

⑤学士の学位授与証明書 又は授与申請の証明書等

該当者のみ

⑥成績証明書

出身(在籍)大学等の長などが作成し、厳封したもの。
ただし、鳥取大学工学部を卒業した者及び卒業見込みの者は提出不要です。

⑦TOEIC®スコア証明書 (原本またはデジタル公式認定証)

出願開始日から遡って、3年以内に受験したもの。
(TOEIC®スコア証明書の原本は書類確認後返却します。)

TOEICスコアの提出
が必須です

⑧受験票等返送用封筒

郵便切手410円分(速達料を含む。)を貼った長形3号封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記してください。

⑨住所シール

住所シールに合格通知書及び入学手続き書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入してください。

⑩住民票等 (外国人志願者のみ)

日本に在住する外国人志願者は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等、在留資格が記載されたものを、その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。

⑪検定料

30,000円

本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口又は郵便局(ゆうちょ銀行)窓口で振込みのうえ、「振替払込受付証明書」を必ず受け取り、「振替払込受付証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。(ATMは利用しないでください。また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。)

医工情報科学コース入試について

- ▶ 募集人員（予定）
18名（推薦入試及び一般入試）

- ▶ 入試方法等の概要（予定）

推薦入試

既設4コースと同じ方式を想定しており、既設4コースのうちどの領域で受験するか出願時に予め申告して頂きます。

一般入試（既設4コースの一般（第2回）と同日に実施予定）

既設4コースと共通の問題を想定しており、既設4コースのうちどの領域の問題で受験するか出願時に予め申告して頂きます。

領域：既設4コースがそれぞれ1つずつ領域を提供するので、コースと読み替えて頂いて結構です。

合格発表および入学手続きについて

◆入学手続きは、2月中旬に合格者宛に通知。（手続きは例年3月）

	推薦入試	一般入試 (第1回)	一般入試 (第2回)
機械宇宙工学 情報エレクトロニクス 化学バイオ 社会システム土木	合格発表：7月22日（水）	合格発表：9月3日（木）	合格発表：12月24日（木）
医工情報科学	合格発表：12月上旬 (予定)	合格発表：12月下旬 (予定)	

お問い合わせ

- ▶ 医工情報科学コースに関するお問い合わせは、工学部教務係までご連絡ください。
- ▶ 工学部教務係(G棟1階)
窓口対応時間:平日8:30~17:15
Mail:en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp